

かさま 社協だより

No.42



編集・発行 2020.9.1

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



笠間市へ手作りマスクの贈呈（令和2年3月）

も く じ

- ① 令和元年度社協事業報告および決算報告 2～3
- ② 『社協』を知っていますか？ 4～5
- ③ ボランティア連絡協議会・マスク寄付ボックス・
笠間青年会議所と災害時における協定 6
- ④ 地域福祉活動を行う皆さま・配食サービス・
新型コロナウイルス対策支援 7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

および決算報告



★法人運営事業

★理事会・評議員会の開催及び監査の実施

理事会は法人の経営方針を決定し、評議員会は理事とは異なる立場から意見を述べる機関。

★広報委員会の開催

「かさま社協だより」の発行に向けて開催。

★第3次笠間市地域福祉活動計画策定に係る委員会の開催

令和2年度から6年度までの5カ年計画で策定するために開催。

★地域福祉事業

★支部・地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部・地区社協（28カ所）を設置。「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域に合わせた福祉の向上を目指す。



★低所得者福祉事業

①小口資金貸付事業

生活困窮者に対して、緊急的に必要とする生活費を貸付。

②生活福祉資金貸付事業

安定した生活が送れるように資金を貸付（県社協にて審査）。

③フードバンク

NPO法人フードバンク茨城及びカスミフードスクエア友部店の協力を得て、生活に困っている方へ食料品などを配布。また

「きずなBOX」を市内7カ所に設置。



★心配ごと相談所の運営

日常生活の困りごとや問題解決に向けたアドバイスをを行い、専門性が高い場合には弁護士による法律相談を実施。

★ボランティアアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集及び提供など。



★共同募金配分事業

子どもや高齢者、障がいのある方をはじめ、支援を必要とする方々への支援。

★善意銀行の運営

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて活用。



★福祉バス

福祉関係団体などが研修に活用するなど、より効果的な事業運営を推進。

★受託事業

★地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援。



★日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などを対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理などを支援。

★生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮している方が抱える様々な問題に対応し、自立した生活を営めるように支援。



★親子通園事業

発達に不安を持つ就学前の幼児・保護者を対象に遊びや交流を通して発達を促す。令和2年度からは、市直営の「こども育成支援センター」で実施。

★在宅福祉サービス事業

高齢者や障がい者、子育て世帯が安心して生活できるように、サービス（家事支援・移送サービス・子育てサポート）を提供する住民の参加と協力による会員制の有償サービス。



令和元年度

社協事業報告

★在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業

重度身体障がい者などを対象に、身体の清潔保持、心身機能の維持向上を図るため、自宅に浴槽を搬入して入浴サービスを提供。

★移動支援事業

障がい者などを対象に、社会参加のため外出時にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援。

★手話奉仕員養成講座

日常会話に必要な手話表現技術を習得し、聴覚障がい者などが自立した生活を営むことができるように支援。

指定管理業務事業

★地域福祉センターの経営

地域福祉センター「ともべ（A館・B館）」・「いわま」の経営。

介護予防・日常生活支援総合事業

★通所型サービス

「いきいき通所事業」

高齢者の生きがいづくりと介護予防を目的として、専門

介護保険事業

★居宅介護支援事業

★訪問介護事業

★訪問入浴介護事業

介護認定を受けている方に、ケアプランの作成、訪問介護、訪問入浴のサービスを提供。

★自立支援居宅介護事業

障がいのある方に、ヘルパーによる身体介護・家事支援などのサービスを提供。

就労継続支援事業

★障害者就労継続支援B型事業

心身障がい者が通所により、社会訓練や作業訓練を行う福祉的就労の場を提供。

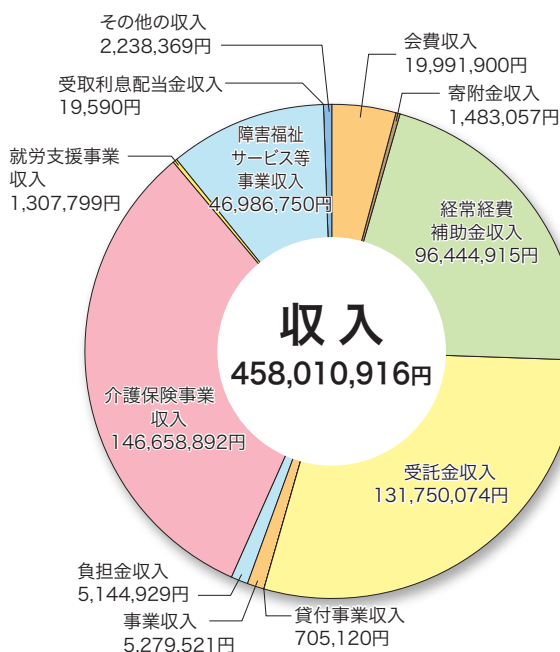
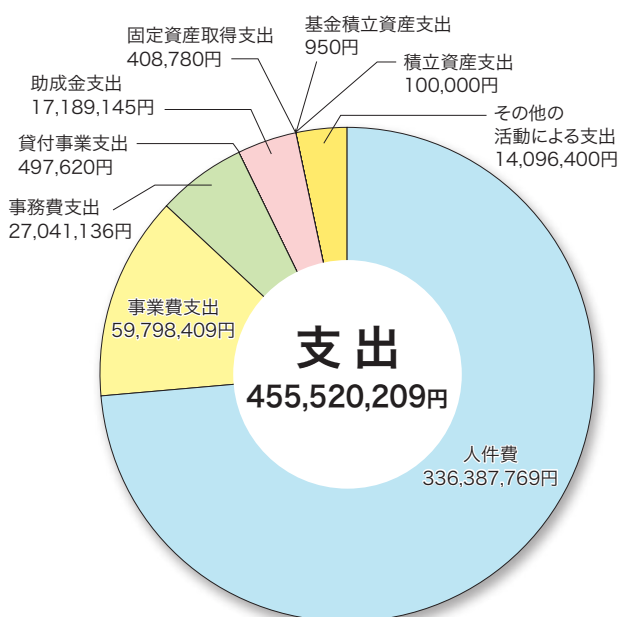


★訪問型サービス

「ふれあいサポート事業」

身体介護を含まない生活支援を行い、安心して日常生活を過ごすことができるように支援。

資金収支決算



地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

手を借りて お互いさまと 肩を貸す

(ワサヌキ ダイスケさん)

『社協』を知っていますか？

その④

介護を社会全体で支えることを目的に、2000年に介護保険制度が創設されましたが、今回の「社協」を知っていますか？（その4）では、介護サービスを利用するための手続きと社協が実施している介護サービスについてご紹介します。

介護サービス利用のしかた

① 申請する

申請の窓口は市の高齢福祉課又は各支所福祉課です。申請は、本人のほか家族でもできます。



② 要介護認定

申請すると、訪問調査のあとに公平な審査・判定が行われ、介護や支援が必要な度合い（要介護度）が決まります。

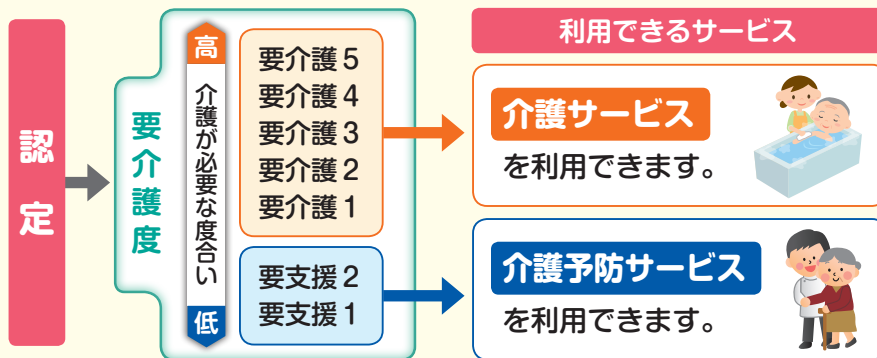
● 訪問調査

市の調査員などが自宅などを訪問し、心身の状態や日中の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行います。

③ 結果の通知

結果の通知は申請から原則30日以内に届きます。

「要介護」と認定された方は「介護サービス」を、「要支援」と認定された方は「介護予防サービス」、「介護予防・生活支援サービス事業」を利用できます。



※詳しくは、お問い合わせください。

居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護に関するご相談をお受けいたします。

◎介護支援専門員（ケアマネジャー）とは

介護保険や保健、医療、その他のサービスを利用しながら、いつまでも住み慣れた地域の中で、自分らしく安心して暮らせるように皆様と一緒に考えていく、介護に関する知識を持った専門職です。



地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

「3密」は おらが地域じゃ 命綱

（村長さん）

訪問介護事業所

**訪問介護員(ホームヘルパー)が入浴・食事などの
介護や調理・掃除などの家事をお手伝いします。**

ホームヘルパーがご自宅に伺い、「その人らしく」
住み慣れた自宅で生活が続けられるよう、自立支援
に向けてサポートします。

主なサービス内容は、次のとおりです。

【身体介護】

身体に直接触れて行う介護サービスです。

【生活援助】

ご本人や家族が病気などのため、家事を行うこと
が難しい場合にサポートします。

【対象となる方】

要介護1～5、要支援1・2または「基本チェッ
クリスト該当」と認定された方。

こんなときにご利用を

- ・一人暮らしで身の回りのことが
できず困っている…
- ・私自身(家族)も持病があって、
十分な介護ができない…

いつも笑顔の
ヘルパーさんが
心の支えです



訪問入浴介護事業所

**自宅の浴槽での入浴が
困難な方へのサービス**

自宅の浴槽で入浴が難しい方に対して、浴槽を積
んだ入浴車が利用者の居室を訪問し、看護職員や介
護職員が入浴の介護を行います。

【サービス内容】

特殊浴槽をベッド脇に設置し、部屋の中で入浴で
きます。

※看護職員が入浴前後に血圧・体温・脈拍をチェッ
クします。

【対象となる方】

要介護1～5、要支援1・2と認定された方。

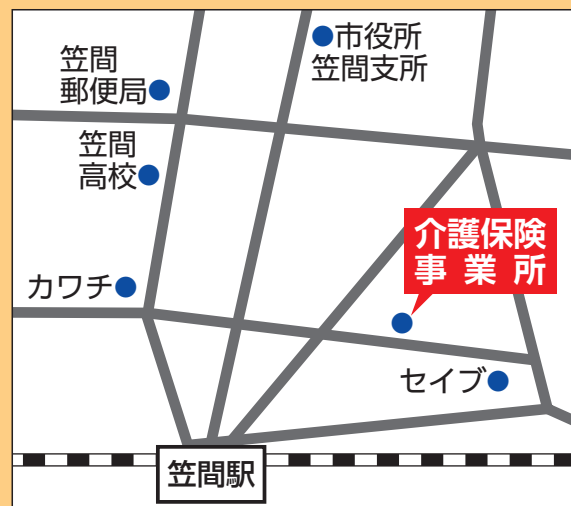
寝たままで
入浴できる浴槽を使い、
居室での入浴を
お手伝いします！



入浴車



介護保険事業所のご案内



〒309-1161
笠間市笠間4364番地2
電話番号…0296-73-5650

これからも介護保
険事業を中心として、
地域の皆様が、住み
慣れた地域でできる
限り安心して暮らせ
るよう、介護・福祉
サービスを提供して
いきます。



地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

手作りの マスクで一人 ファッションショー

(巣ごもり婆さんさん)

県内でいち早く

手作りマスクを届ける

笠間市ボランティア連絡協議会

会長

強口 玄子



さらしの裁断

いただきました。

材料のさらしやゴムひもなど入手困難でしたが、ボランティアの皆さんの協力により短期間で沢山のマスクを作ることができ、皆さんに喜んでいただき嬉しく思っております。

今回の様な新型コロナウイルスの影響により社会全体、生活スタイルが大きく変わる状況にならない様、願うばかりです。今後、様々な状況によりボランティアを必要とされる人達にボランティアとしてどの様な形で関わり、役に立つ事ができるか考えていきたいと思っております。

今年3月中旬、新型コロナウイルスの影響で世間ではマスク不足が騒がれ始め、ボランティアの中からマスクを必要とされている人達に届けようとの声が上がリ、有志50人余が、さらしの生地を使いマスクを手作りしました。



心をこめて

ご協力ありがとうございました マスク寄付ボックス市内13カ所に設置



地域交流センターいわま

マスクを寄付してもらうため、マスク寄付ボックスを設置しました。おかげさまで、252枚の寄付があり、市内の小中学校17カ所に寄付することができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染予防のため、外出時にはマスク着用が求められているなか、国から各家庭に布マスクが配布されました。その一方、各家庭においては市販のマスクの充足率が高まっています。



たくさんのマスクが集まりました

笠間青年会議所と 災害時における協定

令和2年

7月10日(金)

笠間青年会議所と笠間市社会福祉協議会は、「災害時における支援活動に関する協定」の締結を行いました。

協定は、お互いの役割分担と専門的な知識や技能を活用した支援活動を実施する内容とされています。

調印式後の会談では、「お互いの顔の見える関係づくりができるように、今後よりいっそうの連携を図っていきたい」とのお話がありました。



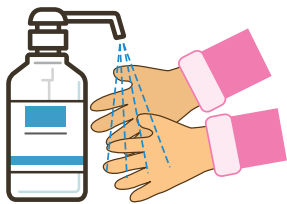
地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

街づくり いざ出てみれば 学級会

(よつちゃんさん)

地域福祉活動を行う皆さま

新型コロナウイルスの影響により、これまで以上に、感染予防対策が必要となります。
楽しく安全に活動をするためにご理解とご協力を！



●まずは自宅で体温を測定しましょう

目安として…37.5℃以上の発熱

風邪のような症状

身体のだるさ など

※当てはまるものがあつた場合は、無理せず療養しましょう。

- ◆ 手洗いをしましょう
- ◆ 手指の消毒を行いましょう
- ◆ マスクを着用しましょう
- ◆ 窓を開けるなど換気を心がけましょう
- ◆ 人との間隔をあけて活動しましょう
(最低でも1メートル)
- ◆ なるべく短時間で活動をしましょう



入口に設置

NO!! 3密

① 換気の悪い
密閉空間

② 多数が集まる
密集場所

③ 間近で会話や
発声をする
密接場面

食事(弁当)づくり、配達に関わる皆さま



まず健康チェック表に記入

- ◆ 調理室の各テーブル
1人から2人
- ◆ 手洗い・手指の消毒
- ◆ 調理室では
新しいマスクを使用



配達する時は車内の消毒
(ハンドル、座席、シート)



お金は直接触れず
これを使って

このように
工夫して
います。

会食が配食となり6月16日に
第一歩を踏み出しました。
「みちくさ」は7月4日から、
「なのはな」は7月14日から、
笠間支所の「さくら」は6
月26日から笠間公民館ではじ
まりました。
岩間支所は、いきいき通所
事業のお弁当が7月1日から、
配食サービスは7月6日から



活動がスタート

新型コロナウイルス感染症
の影響により、2月の後半か
ら手作り弁当の配食が中止と
なりましたが、6月8日より
地域福祉センターの使用が再
開され、さまざまな対策をと
りながら配食サービスをはじ
めることとなりました。
友部本所の「あかざ会」は、

4カ月
ぶり

**待ちに待った
手作り弁当**



この度、茨城県社会福祉
協議会を通じ、(株)セブ
ン・ジャパンより「缶
詰」・「カップスープ」。日
本たばこ産業(株)東関東支社より、
「パックごはん」をそれぞれ
多数寄贈していただきました。
新型コロナウイルス感染症
の影響により、休業や失業さ
れてお困りの方などに対して
活用させていただきます。皆
様のご厚意に感謝申し上げます。

**新型コロナウイルス
対応支援
セブンイレブンより**



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和2年3月1日～令和2年6月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

- エコキャップ、使用済み切手など 正和通信(株)、泰栄電器(株)、大沢中3区、岡野けい子、県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)、クライナー・ザール、高齢者クラブ旭台睦会、県立友部東特別支援学校、青葉町長寿会、常陽銀行友部支店、ナブコシステム(株)茨城支店、ともべ幼稚園、みか保育園、飯田自動車(有)、大沢保育園、不二製油(株)関東工場、かさまグリーンハウス、倉持啓輔、友部小学校児童クラブ、訪問介護事業所ゆう、ケアハウス悠、笠間陽だまり館、NPO法人がくどうともべ、岡本興業(株)、みなみ学園児童クラブ、ケアハウスかさま、(株)DCL、おしのべ保育園、大成学園いなだこども園、赤沢三男、(有)伊藤石材工業、いわま保育園、手打ち甚兵衛そば柏屋、額田義文、芳野工業(株)、更生保護女性会友部支部、柿橋団地きらくの会、匿名
- 日用品など 常陽ボランティア倶楽部、匿名
- 食品など 第一生命保険(株)、宮本くに、県立友部特別支援学校

金 銭

ボランティア連絡協議会友部支部	¥50,000	MGM友部店	¥11,250
青葉町長寿会	¥24,416	バザー夢工房	¥100,000
ボランティアサークル ナマステの会	¥20,000	加藤 弘美	¥10,000
川又 登志子	¥100,000	生長の家茨城県教化部 白鳩会	¥4,287
飯田自動車(有)	¥17,091	匿名	¥420,982



令和2年7月豪雨災害 義援金 募集

募集期間

令和2年
12月28日(月)
まで

令和2年7月の豪雨により被災された方々を支援するため義援金を募集しています。
ご協力いただきました義援金は、各被災県の共同募金会を通じて、全額被災者に届けられます。

宍戸小に手づくりマスクを贈呈

笠間市社会福祉協議会宍戸支部(支部長 雨谷高市、女性部長 小菅栄子)は、地元の笠間市立宍戸小学校(校長 小松崎智史)に児童及び教職員全員分の手づくりマスクを贈呈しました。

マスクは、同社協女性部に所属する手づくり会の会員が4月10日以降交代で(3密をつくらぬよう)宍戸支部会館において一枚一枚縫い上げたものです。



左から 雨谷高市支部長、小松崎智史校長、小菅栄子女性部長、小川福子手づくり会代表

令和2年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	笠間支所 [第2・4火曜日]	本 所 [第2・4水曜日]	岩間支所 [第1・3木曜日]
月	社協笠間支所	地域福祉センターともべ (旧友部社会福祉会館)	地域福祉センターいわま (旧岩間保健センター)
9月	8日 22日	9日 23日	3日 17日
10月	13日 27日	14日 28日	1日 15日
11月	10日 24日	11日 25日	5日 19日
12月	8日 22日	9日 23日	3日 17日

法律相談 ※法律相談は、事前に心配ごと相談へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250